

茨城県 高校 PTA

茨城県高等学校PTA連合会 調査広報委員会

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3階
TEL(029)221-1448 FAX(029)231-1660

お知らせ
ご活用ください

本会(ホームページ)
<http://www.sopia.or.jp/itako-1c2/>
E-mail(アドレス)
iba-kopren@dolphin.ocn.ne.jp



「田んぼ」 県立伊奈高等学校 写真部2年 豊島来愛

Contents 目次

2026 No.102

- 優良PTA文部科学大臣表彰を受賞して
- 関東高P連大会に参加して
- 全国高P連大会に参加して2
- 広報委員研修会に参加して
- PTA指導者研修会に参加して
- 学校紹介3
- PTA活動紹介 ねっとわ〜く4
- 周年行事6-7
- 各地区主催「講演会」報告
- 各種表彰
- あがき8



「遠い夜景」
県立伊奈高等学校 写真部1年 我妻瑠華

いあごわし

茨城県高等学校PTA連合会
会長 櫻井 登志子
(県立水戸桜ノ牧高等学校)



会員の皆様には、日頃より本会の活動に際しまして深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度、夏には、昨年度の全国高等学校PTA連合会大会茨城大会に続き、三重大会が開催されました。秋には、聴覚に障害のあるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ大会「東京2025デフリンピック」が開催され、県内からも高校生がボランティアスタッフとして参加されました。ボランティア活動の経験は、自己実現や自己肯定感の向上、そして共生社会の実現にも繋がります。

本会は、家庭や家族、家庭教育や子育てなどをテーマとして、講演や研修、体験発表や意見交換などの場を設け、広く情報が得られています。一人一人の子どもたちの自己実現や自己肯定感の向上を図ると共に、これからも一人一人の保護者と学校の絆を大切にしていきたいと願っています。

まずは、子どもたちが安心安全に暮らし、学べる環境を守り、その上で様々な体験から、生きる力を育んでいければと思います。

結びに、子どもたちの健やかな成長を切に願いながら、今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

◆副会長

- 三代てる子 多賀高PTA会長
- 豊 由香里 潮来高PTA会長
- 武藤 直美 牛久高PTA会長
- 桃井 正和 古河中等教育学校PTA会長
- 鈴木 猛 佐和高校長(校長協会)

「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞して

県立水戸南高等学校PTA

このたび令和7年度「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞いたしました。長年にわたり、学校・家庭・地域が力を合わせて活動を続けてきた成果が認められたことを、心よりうれしく思います。



文化祭「ワークショップ」

茨城県立水戸南高等学校は、昭和46年に設立された定時制・通信制の単位制高校です。昼間制・夜間制・通信制の3課程を備え、生徒一人ひとりの生活スタイルや学習ペースに合わせて学べる環境が整っています。自由で温かな校風のもと、生徒の主体的な学びと自立を育む学校です。

学校と家庭の絆を深めてきました。また、クラウドやLINEなどのICTを活用した情報共有の効率化や、外部講師を招いた「コーヒー講座」、文化祭での出店企画など、時代に即した柔軟な活動を展開しています。

本校PTAは、健全育成・研修・広報の専門委員会を中心に、さまざまな活動を行っています。朝のあいさつ運動や家庭でのスマートフォン利用ルールの共有、講演会や視察研修の企画、会報誌『桜梅桃李』の発行などを通して、

コーヒー講座



私たちは今回の受賞を励みに、これからも学校と家庭が力を合わせ、生徒たちの笑顔と成長を支える温かなPTA活動を続けてまいります。

専門委員会



第71回関東地区高等学校PTA連合会大会「埼玉大会」に参加して

県立佐和高等学校長 鈴木 猛

7月11日(金)・12日(土)の2日間、第71回関東地区高等学校PTA連合会大会埼玉大会が「対話を通し明日を拓くPTA」をテーマに開催されました。



発表者鬼怒商

初日、会場では映像アトラクションとして、埼玉県内6校の放送関係の部活動による映像作品紹介が行われ、いずれの学校も質の高い作品上映により会場も大いに盛り上がりました。その後、各分科会が開催され、私は第2分科会「組織の活性化とPTA」進路指導とPTAに参加しました。神奈川県立麻生高等学校、栃木県立佐野高等学校のPTA活動内容や特色、力を

2日目の全体会では、埼玉県立大宮高等学校音楽部による混声合唱のアトラクションが行われ、会場に感動を与えてくれる音楽を発表してくれました。その後の開会式では、大会宣言文の採択と表彰式、記念講演として第170回芥川龍之介賞受賞作家である九段理江氏による講演会が行われました。

今日大会では、同じ関東地区で同じ高校生世代の子どもに関わる保護者、教職員・自治体が一堂に会し、それぞれの考え方や現代社会の子どもを取り巻く様々な問題などを共有し、子どもたちの明るい未来や環境づくりを構築するための良い機会となりました。

最後に本大会に参加された茨城県各PTAの皆様、ご多用の折ありがとうございました。また研修内容を各校において有意義に活用されること祈念申し上げます。ご報告とさせていただきます。

第74回全国高等学校PTA連合会大会「三重大会」に参加して

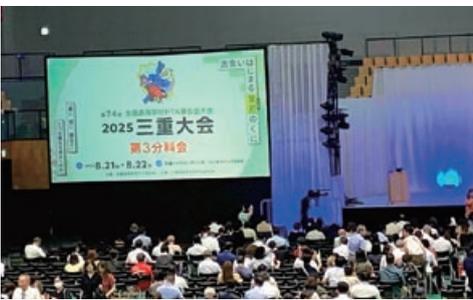
県立多賀高等学校

三重大会が8月21日(木)22日(金)の日程で、津市産業スポーツセンターで開催されました。テーマは「出会い はじまる常若のくに」サブテーマは「集い、想い、継ぐ」三つの重なる明日への力でした。

1日目、第3分科会に参加。テーマは、「AI時代におけるWell-beingなキャリアデザイン」でした。

幸福な生活のヒントは①親が経験した出会いなどの体験を子に伝える②子の行動プロセスを大切に、結果は気にせず見守ること③若いうちは小さい失敗をたくさん経験すること④子供は親を見て、親の本当の気持ちを感じることで注意。

印象的な言葉は①夢は深く、根は深く、葉っぱは広し②誰でも良い点を1つは持つ。その人を引き上げるのは本人及び周りの人。三重大会は、幸福感を感じるためのヒントを開けた有意義な機会となりました。



沼澤会長挨拶



アトラクション大宮高合唱

6月26日(木)、三の丸庁舎で開催された「広報委員研修会」に参加しました。茨城県立産業技術短期大学校(IT短大) 専任講師 高橋俊英先生を講師にお迎えし、「読みたくなる、読ませる広報誌作成のためのトレーニング」と題された講義、演習およびグループワークを行いました。

広報委員研修会に参加して

江尻 浩輔 (県立磯原郷英高等学校教諭)

講義では、PTA及び広報誌の役割や存在意義等について参加された皆様と対話をしながら考えを深めることができました。また、演習(トレーニング)では、魅力的な記事を作成するため、記事の文末が単調にならないよう、実際の新聞を教材としながら、グループで様々な表現を探して抜き出したり、見出しをつけたりする訓練を行いました。さらに、広報誌を持ち寄り情報交換では、各校の広報誌を相互評価する際に、肖像権の取り扱いの難しさや、行事数の減少に伴い、発行回数・時期の見直しが必要となっていること等、近年本校が抱えている課題に他校も直面していることを知り、共に解決策を検討することができ、有意義な時間となりました。

私自身、渉外係に四年携わるなかでの初めての参加でしたが、今回の研修で広報誌の質の向上に繋がる様々な知見を得ることができました。ここまでお読み頂いたPTA関係者の皆様におかれましては、是非次回研修への参加をご検討頂ければ幸いです。



広報委員研修会

PTA指導者研修会

学校紹介(特色のある活動)

令和7年度PTA指導者研修会に参加して

県高P連副会長 豊 由香里 (県立潮来高等学校PTA会長)

11月19日(水)茨城県三の丸庁舎にてPTA指導者研修会が開催されました。事例発表は、県立鬼怒商業高等学校PTAによる「学校と家庭をつなぐPTA活動」をテーマに、スマホの家庭ルールづくりや、2度の水害の困難にも挫けず保護者と学校が連携しながら情報を共有するなど、子どもたちの安全を守るために取り組む姿が印象に残りました。

講演会では、講師に水戸市議会議員の滑川友理氏をお招きし、「今知らなきゃいけないLGBTQ〜今日から当たり前が変わる〜」のテーマで行われました。SOGI(性的指向、性自認)や、本人の理解もなくその人がLGBTQであることを周囲に伝えてしまうアウティングは、絶対にしてはいけない行為であることを学びました。

講師ご本人が体験したことを語られた時は、思わず涙がこぼれました。「生まれ持ったもの」なのに不安や葛藤、そこに至るまでの思いを聞き、誰もが安心して自分らしく生きられる環境づくりの大切さを改めて実感しました。

今回の研修を通して、多様性を尊重した温かいコミュニケーション作りの必要性を感じました。とても充実した研修になりました。



講演会



鬼怒商業発表



会場風景



伝統ある進学校の受験勉強だけではない、楽しみながら努力し、他者と協力し、目標達成へのプロセスデザインや実学を学べるイベントであると感じました。

山王祭は、高校、附属中学校の生徒、先生方、そして保護者等の協力により開催されます。

山王祭は、全校生徒が主体となり、生徒会、山王祭実行委員、先生方や保護者として作るイベントではないかと感じました。

山王祭における特色の一つを例にあげますと、私たち生徒支援委員は、生徒会とともにオリジナルトートバッグやタオルの作成、販売に参加しました。それらの完成までには、生徒会と議論を重ね、最終的に納得のいくトートバッグ

グとタオルが完成しました。完成させるための議論の中でも、生徒はしっかりとしたビジョンをもち、完成させ、多くの方々に、ご購入いただきました。



学校紹介(特色のある活動) 実学が身につく山王祭

県立鉾田第一高等学校 生徒支援委員長 大槻 哲史

茨城県立鉾田第一高等学校・附属中学校による令和7年度山王祭が6月20日、21日の両日に盛大に開催され、成功を遂げました。

「成功」とは、一般公開により非常に多くの方々に来校いただいたこと。生徒たちが、来校いただく方々が楽しめる企画を用意してお迎えし、校内に笑顔があふれていたこと。それが成功であると思います。



ともに歩み支える PTA活動

県立日立第一高等学校・附属中学校

本校は、令和九年に創立百周年を迎えます。現在は、高校生と附属中学生を合わせて約960名の生徒が学んでいます。

本校のPTA組織は、地区別に選出された委員（附属中学校では、クラス別に選出された委員）が年次委員会と専門委員会の両方に所属し活動しています。さらに、本部役員と委員全員で構成される全体委員会、本部役員と各委員会の委員長で構成される総務委員

会が設置され全体の運営をしています。

主な活動は、全体でのPTA総会・講演会、白聖祭（文化祭）でのPTA出店、学力振興委員会による生徒対象のセミナーや保護者対象の大学視察研修の運営、生徒指導委員会による「さわやかマナーアップキャンペーン」への参加、体育後援委員会によるマラソン大会運営支援、広報委員会による広報誌の発行、各学年委員会による学年懇談会の開催、その他にも研修会等への参加など積極的な活動を展開しています。今後も諸活動を通して会員同士の親睦を深め、保護者と教職員がともに協力し、学校活動を支援できるPTA活動にしていきたいと思っています。



大学視察



PTA総会



マナーアップキャンペーン

できる人が、できるときに —新しいPTA活動

県立取手第一高等学校

本校は大正11年に茨城県北相馬郡北総実修学校として創立し、その後、農学校や農園学校への学科改編を経て、平成15年に現在の取手第一高等学校（総合学科）となりました。令和4年度には創立100周年を迎えた、歴史と伝統のある学校です。

本校PTAの活動は、「保護者と学校が顔の見える関係」を大切にしながら、「生徒たちのために何ができるか」を常に考え、より良い学校づくりを目指して取り組んでいます。その一つが雁耕祭（がんこうさい）（文化祭）における保護者によるパン販売です。取手市内や近隣のパン店から仕入れたパンは大変好評で、二日間とも開始から約二時間で完売する人気の催しと

伝統を次世代へ ~地域とともに歩むPTA活動

県立潮来高等学校

本校は本年創立120周年を迎えた伝統校です。この長い歴史の中で育まれてきた地域との絆を大切にしながら、現在、本校は地域住民や保護者が学校運営に参画する「コミュニティスクール」として、学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりを推進しています。

具体的な活動としては、年度初めの「あいさつ運動」は、地域の方々と共に登校する生徒を温かく迎えています。また、青少年育成潮来市民会議の皆さんと実施した「高校生さわやかマナーアップキャンペーン」を通じて、公共のマナーを社会全体で見守るほか、潮来市内のボランティア活動にも積極的に参加しています。こうした地域貢献を通じ、生徒たちが郷土愛を育む機会を全力でバックアップしています。



高校生さわやかマナーアップキャンペーン

120周年という大きな節目に立ち、PTAはこれからも学校と地域の架け橋であり続けたいと考えています。地域に開かれ、地域に支えられ、そして地域に貢献する。そんな「地域とともに歩む学校」のサポーターとして、PとTが手を取り合い、生徒たちの未来を共に育んでまいります。



高校生さわやかマナーアップキャンペーン



登校指導

PTA活動紹介

ねっと

令和7年度



ともに歩む PTA活動

県立水戸桜ノ牧高等学校

本校は昭和57年に創立され、本年度で創立43周年を迎えました。「自律・創意・友愛」の校訓を指針に各学年8クラスの生徒が勉強も部活動もやり切る！国際社会で活躍できる人材に！との思いで活発に日常生活を送っています。

本校PTA組織は、本部役員と各学年委員会、2つの専門委員会（教養・広報）で構成されています。広報紙「水桜」は年3回発行

し、生徒のイキイキとした姿が毎回紹介されています。昨年より毎年開催となった水桜祭(文化祭)では、PTAの出店を検討しあい、近隣にある老舗和菓子店とのコラボ商品で校章をかたどった「牧どら」を販売。ポップを書道部と協力し、当日SNS等でも紹介し、行列ができるほど多くの方にお買い求めいただきました。また、秋の教養委員会主催のPTA研修会では役員・委員だけでなく、全校PTA会員

にも参加を呼びかけ、「自己肯定感を育む子育て」の内容で当日多くの方にお集まりいただきました。

これからも子どもたちがこの学び舎で充実した3年間を過ごせるよう、成長を一番近くで応援していけるPTAをつくってまいります。



校舎正面



PTA研修会



水桜祭 PTA「牧どら」の販売

生徒と学校の成長を見守るPTA

県立竹園高等学校

本校PTAは昔ながらの色合いが濃い。地区支部は残っているし役員は支部より受けた推薦者が本当に開かれる役員選考委員会で選考される。そんな本校であるが令和7年度の入学率においては加入率100%であった。これは学校や生徒への期待が高いためであると思われる。

しかし、PTAとしてはその期待に負けることなく、より魅力あるものがあるべきと考え、今年度は以下の取り組みを行ったのでご紹介する。

- ・探QDB...探Q活動を自身の能力を使い手伝てくれる保護者を募集
- ・役員向け視察会...役員は資質向上を目的にこれまで未公開だったクラスマッチなどの行事を視察する会を実施

・PTA会費使途精査...全ての支出入を精査し、「これはいいね!」というものをPTA広報誌にて紹介
先日ある生徒達から「うちの学校って制限少ないよね」という声が聞かれました。文化祭で生徒たちによる飲食店運営に制限がほとんどないことを指していました。

本校では生徒の学校生活を舞台に保護者が活躍する活動はほぼやっています。文化祭も広報委員がカメラを持ちますがPTAの手伝い一切なしで運営されます。

生徒が何でもできる力を持っているし、それを引き出す学校がある。少し寂しいけれど、既に始まっている自立を支えて見守るPTAであると言えます。

多くの保護者や先生達と笑ったり泣いたりしながら学校教育を育てている環境に、私自身も深く感謝をしています。



三重大会は道中はみんなですと学校のことを話して過ごしました。



150分みっちり議論した、PTA会費使途精査の様子。



竹園高校外観

なっています。しかし、PTA活動には課題もあります。共働き世帯が増える中で、役員会議や委員会活動に参加しにくいという現状があります。そこで昨年度より、役員選出方法を「強制型」から「参加型」へと改革しました。「できるときに、できる人が、できることを」という方針のもと、気軽に参加できるスタイルを導入しています。委員会によって人数に偏りはありますが、少ない場合はボランティアを募って活動を支えています。今後はPTA活動に寄せられる様々な声を取り入れ、保護者と学校双方にとって無理のない運営を目指しながら、よりよい改革を進めていきたいと考えています。そして、その取り組みが、生徒たちの健やかな学校生活に少しでも貢献できるように取り組んでいきたいと考えています。



雁餅祭 (パン販売)

創立130周年記念式典

県立水戸農業高等学校

本校は、明治28年（1895年）に茨城県中央農事講習所として開所され、県簡易農学校、県農学校、県立農学校、県立水戸農学校を経て、昭和23年に茨城県立水戸農業高等学校となりました。昭和45年に現在の那珂市へ移転し、創立以来、県の農業教育の中心的役割を担い、優れた農業人の育成に取り組んできました。これまでの卒業生は3万人を超え、各分野にわたり活躍しています。現在は、農学科・畜産科・園芸科・生活科学科・農業土木科・食品化学科・農業経済科の全日制7学科と昼間定時制農学科の全8



記念式典

学科で約800名の生徒が学んでおります。創立130周年を記念して、10月29日（水）本校体育館において記念式典が開催されました。式典に続き、県内で活躍する卒業生4名によるシンポジウム「水農卒業生が語るこれからの茨城の農業」が行われました。本校で学んだ事と仕事とのつながりや、茨城の農業の課題、今後の水戸農業高校に期待することなど、自身の思い出話も交えて、活発な意見が交わされました。結びにこれまで本校を支えてくださいました皆様に深く敬意を表しますとともに、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。



シンポジウム

創立120周年記念式典

県立潮来高等学校

本校は、明治38年に「私立潮来裁縫学校」として創立されました。「茨城県潮来女子技芸学校」「潮来町立高等女子学校」と改め、昭和23年に「茨城県立潮来高等学校」となりました。

平成24年にはそれまでの「家政科」が「人間科学科」に、平成31年には「商業科」が「地域ビジネス科」にそれぞれ学科改編が行われ、現在に至っております。これまでに1万7000人を超える卒業生を輩出してきました。創立120周年を記念して、11月22日（土）、本校体育館において、茨城県教育委員会教育長をはじめ多数の御来賓の方々のご臨席のもと記



創立110周年記念式典

県立龍ヶ崎第二高等学校

本校は、大正5年に龍ヶ崎町立龍ヶ崎女子技芸学校として開校し、改称を重ね、昭和24年に茨城県立龍ヶ崎第二高等学校となり、現在は普通科・商業科・人間文化科の3学科を有する全日制高校として歩み続け、これまでに2万2000人を超える卒業生を送り出してきました。

創立110周年を迎え、10月11日（土）には大昭ホール龍ヶ崎にて記念式典を開催し、記念講演では二所ノ関親方より「諦めないことの大切さ」について、心に残るお話をいただきました。また、つかもと・高橋肉店・国華堂との商品開発や関東鉄道竜ヶ崎線との連携など、地域とともに進めてきた取組が紹介されました。「はんぺんコロッケ」のふるさと納税返



念式典が開催されました。式典に続き、元潮来市潮音寺副住職、現薬師寺の副住職であります大谷徹英師による記念講演が行われました。結びにこれまで本校を支えてくださいました皆様に深く敬意を表しますとともに、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。



校長式辞

礼品登録や、龍ヶ崎市マスコット「まいりゅう」と本校キャラクターの大親友認定により、会場は和やかな雰囲気にも包まれました。展示では、全生徒が製作したウエルカムボードや数々の取組などを通して、本校の歩みと生徒たちの想いが伝えられました。これまで支えてくださった皆様に感謝するとともに、今後も地域とともに歩み、生徒一人ひとりの成長を大切にしたいと願っております。



ウエルカムボード（全生徒）と龍のドレス



二所ノ関親方へ花束贈呈（生徒会）



ドレス



ウェルカムボード



帯結び



記念式典

大正11年設立の北総実修学校の女子部を前身とし、同14年に取手実科高等学校として創立した本校は、今年で創立100周年を迎えることとなりました。昭和24年には校名を現在の「取手第二高等学校」に変え、これまで2万人余の卒業生を社会に送り出してきました。

10月25日には、本校体育館にて盛大かつ厳粛なる記念式典を挙行しました。ご祝辞ではこれまでの卒業生、在校生の活躍に対する賛辞と激励のお言葉を頂戴し、晴れやかで心なみ式典となりました。式典後はさかなクンによる記念講演が行われ、さかなクンが

お魚に出会った幼いころのピソードから、お魚にまつわる環境問題まで、幅広く興味深いお話を伺うことができました。さかなクンの素晴らしいパフォーマンスと持ち前のサービスマンシップと持ち前の人が魅了されました。

今回は、生徒スタッフの活躍をはじめ、家政科の作品展、音楽部、吹奏楽部、吹奏楽部演奏など、実に百名以上の生徒が参加し作り上げた式典は、心に温かく、記憶に残る素晴らしい節目となりました。



創立20周年記念式典
県立高萩清松高等学校

期日：令和7年7月5日(土)
会場：高萩市文化会館
参加者：約400名(全校生徒・同窓会役員・PTA役員・教職員)

公演内容：本校校歌制作にまつわるエピソードの紹介ならびにコンサート
講師名：マシコタツロウ氏



創立40周年記念式典
県立三和高等学校

期日：令和7年11月8日(土)
会場：本校体育館
参加者：約250名(来賓・生徒・保護者・教職員)

講演内容：「夢を叶える3つの魔法」
講師名：大島崇央氏



創立40周年記念式典
県立波崎柳川高等学校

期日：令和7年10月18日(土)
会場：本校体育館
参加者：310名(来賓・実行委員・生徒・教職員)

公演内容：大洗高校マーチングバンド部「BLEUHEAVENS」
波崎はやうち太鼓の迫力ある演奏で幕を開け、大洗高校ブルーホークスの圧巻のパフォーマンスで40年の歩みを振り返り、未来への決意を新たにしました。



創立50周年記念式典
県立八千代高等学校

期日：令和7年11月15日(土)
会場：茨城県立八千代高等学校 体育館
参加者：在校生・職員・来賓・招待者

公演内容：1組目 「LGBTQ」について
自身がトランスジェンダーであることを公式YouTubeチャンネルで発表したことから、LGBTQについての話を中心にその中にマジックを取り入れた講演。
2組目 魔法使いアキツト
(1)演題 ロックを中心にした音楽で記念式典を盛り上げた。
(2)講師名 力士団



茨城県高等学校PTA連合会 生徒総合保障制度

昨今、自転車事故による被害者への高額な賠償責任が取り沙汰されています。また、お子さまの部活動や自転車事故等によるおケガや、病気による入院、いじめ、SNS上での誹謗中傷など、保護者の皆様のご心配は尽きないものと存じます。

AIG損害保険では、お子さまの学校生活へのサポートに積極的に取り組んでいます。

『生徒総合保障制度』は任意加入の保険となります。詳しくはパンフレットをご覧ください。下記バーコードからも簡単にお申し込みいただけます。

スマホで簡単！お手続き完了！



スマートフォンやタブレットで、左のQRコードを読み込むか下記URLまでアクセスしてください。

<https://www-515.aig.co.jp/adver?sd=0reul7d1-26>

デジタルツールの普及によるネットトラブルについて

文部科学省から公表された【問題行動・不登校調査】では、パソコンやスマートフォンを通じた誹謗(ひぼう)中傷といった「ネットいじめ」の認知件数が過去最多を更新されました。(文部科学省：令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要)東京都内の小学6年生の女子児童が自殺した問題をめぐっては、文部科学省が進める「GIGA(ギガ)スクール構想」で児童に1人1台配備されたタブレット端末のチャット機能を悪用したいじめが行われた可能性なども指摘されていて、対策が急務となっています。学校貸与端末などの普及によりお子さまがSNSなどに触れる機会が増え、SNSでの誹謗中傷や対人トラブルに巻き込まれたり、ストーカーなどのさまざまな被害事故も増加しております。

インターネットやスマートフォン、タブレット端末などは、安全に正しく使うことができるとも役立つ便利なものです。しかしながら、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになるなど、誹謗中傷やいじめの温床になることも事実です。学校生活だけでなく日々の生活を安心して過ごしていただくため、生徒総合保障制度では、このような対人トラブルや犯罪被害で精神的ダメージを受けた際、弁護士・カウンセラーへの相談費用や、解決のための対策費用などを補償する新たな特約を2022年より導入しました。

「生徒総合保障制度」「PTA総合補償制度」のお問合せ先
AIG損害保険 代理店 **株式会社 トータルマネージメント**
〒310-0805 茨城県水戸市中央2-6-29 AIG水戸ビル1F
TEL 029-302-6255 FAX 029-302-6256

各地区主催「講演会」報告

定時部会	県西地区	県南地区	県東地区	水戸地区	県北地区
<p>■定時部会並びに研修会（9月6日（土）） 県立鹿島灘高等学校（リポート開催）30名（定時部PTA） 日立 円氏（みらい幸福代表） 「今日から心が軽くなる自己肯定感を高める3つの方法」</p>	<p>■総会（6月25日（水））多賀市民会館小ホール72名 関 正彦氏（ベップトーク普及協会講師） 「やる気を引き出す言葉の力 ベップトーク」 ベップトークの4ステップは、ステップ1 受容（事実の受け入れ）、ステップ2 承認（とらえ方変換）（あるもの変換）、ステップ3 行動（してほしい変換）、ステップ4 激励（背中への押し）。具体例を提示していただき分りやすい講演でした。</p> <p>■研修会（10月29日（水））多賀市民会館大ホール58名 福島 清香氏（シンガーソングライター） 「やらないで後悔するよりもやってみて後悔した方がよい 勇気の出るコンサート」 茨城県水戸市出身、大学生まで陸上競技を続け、大学時代に音楽をはじめ、DAM友オーディションで優勝、現在は茨城県や都内を中心に活動中。 講話と楽曲を聴き、「明日から頑張ろう」という気持ちになれたライブでした。</p>	<p>■評議員会（5月16日（金））ホテルマロウド土浦81名 ・大学院で「笑いと教育」を研究した矢島氏と、高校英語教員経験のある野村氏が、子どもとのコミュニケーションの取り方や他者との関わり方について、ペアワークや即席漫才などをとり入れながら行ってくれました。参加型の楽しめる内容でした。</p> <p>■研修会（令和7年9月19日（金））ホテルマロウド土浦89名 ・取手 高、藤代紫水高の発表にて多彩なPTA活動の運営の工夫などを学び、有意義な時間となりました。また、全員のバイオリニスト穴澤雄介氏による講演にて美しい演奏とともに、あきらめない姿勢、ひたむきに前向きに人生を楽しむ姿勢に触れることができました。</p>	<p>■評議員会（5月16日（金））ホテルマロウド土浦81名 ・大学院で「笑いと教育」を研究した矢島氏と、高校英語教員経験のある野村氏が、子どもとのコミュニケーションの取り方や他者との関わり方について、ペアワークや即席漫才などをとり入れながら行ってくれました。参加型の楽しめる内容でした。</p> <p>■研修会（令和7年9月19日（金））ホテルマロウド土浦89名 ・取手 高、藤代紫水高の発表にて多彩なPTA活動の運営の工夫などを学び、有意義な時間となりました。また、全員のバイオリニスト穴澤雄介氏による講演にて美しい演奏とともに、あきらめない姿勢、ひたむきに前向きに人生を楽しむ姿勢に触れることができました。</p>	<p>■研修会（11月7日（金））鹿行生涯学習センター レイクエコー56名 有川 保氏（弁護士） 「自分の頭で考えたら、いじめ防止対策推進法は、いじめられ防止対策推進法とするのが正しかった」 いじめについての事例をたくさんおもちで、そのようなことがいじめになるのか、驚くこともありましたが、一般常識的な考えだと思っていたことが、弁護士のお立場で考えると、違うこともあると気づきました。言いにくいことをスバツとおっしゃるので、小気味よかったです。大変勉強になった講演会でした。</p> <p>■総会（6月17日（火））ザ・ヒロサワ・シテイ会館（分館）71名 鷺田 美加氏（株式会社RION 代表取締役） 「子どもが自ら踏み出す一歩を応援できる大人になろう」保護者と先生の協働で育む、自己肯定感」 ワークシヨップを取り入れながら、実体験を交えての子どもの自己肯定感を育む声掛けや激励等、接し方のヒントを教えてくださいいただき参加者一同大変に有意義な講演会となりました。</p> <p>■研修会（10月24日（金））茨城県立健康プラザ67名 綿引 薫氏（石塚サン・トラベル株式会社 代表取締役社長） 「ボランティアバスを走らせて、信じあえる仲間」 ・東日本大震災の発生以来、延べ約32,000人の参加者を数える被災地ボランティアバスを運営、活動を続ける思いや中心となって活動する高校生の気付き・意識の変化等を語っていただきました。</p>	<p>■総会（6月25日（水））多賀市民会館小ホール72名 関 正彦氏（ベップトーク普及協会講師） 「やる気を引き出す言葉の力 ベップトーク」 ベップトークの4ステップは、ステップ1 受容（事実の受け入れ）、ステップ2 承認（とらえ方変換）（あるもの変換）、ステップ3 行動（してほしい変換）、ステップ4 激励（背中への押し）。具体例を提示していただき分りやすい講演でした。</p> <p>■研修会（10月29日（水））多賀市民会館大ホール58名 福島 清香氏（シンガーソングライター） 「やらないで後悔するよりもやってみて後悔した方がよい 勇気の出るコンサート」 茨城県水戸市出身、大学生まで陸上競技を続け、大学時代に音楽をはじめ、DAM友オーディションで優勝、現在は茨城県や都内を中心に活動中。 講話と楽曲を聴き、「明日から頑張ろう」という気持ちになれたライブでした。</p>

善行生徒表彰者

- 菅 愛己（日立一3年）
- 佐藤 興太（日立北3年）
- 佐藤 輝空（日立北3年）
- 松尾 鷹治（日立北3年）
- 遠西 竜弥（緑岡1年）
- 富田 旬祐（緑岡1年）
- 玉造 陽（水戸桜ノ牧2年）
- 平賀 悠介（水戸桜ノ牧2年）
- 磯前 祐貴（水戸桜ノ牧3年）
- 関根 直輝（勝田工業3年）
- 橋本 修平（笠間2年）
- 武藤 絢音（笠間2年）
- 古橋 夢羽（東海1年）
- 佐藤 蒼珠（鹿島3年）
- 横田 蒼天（鹿島1年）
- 高橋 雅哉（藤代2年）
- 大木 勇吾（下館一3年）
- 丸山 紗和（下館一3年）
- 谷中 心響（下館一3年）
- 大島 胡桃（下館一3年）
- 新井 菜生（下館一3年）
- 堀江乃々華（下館一3年）
- 吉澤彩也花（下館一3年）
- 鶴見 智哉（下館工業1年）
- 古崎 連輝（下館工業1年）
- 谷貝 弘喜（結城一3年）
- 榊原 端菜（結城一1年）
- 稲葉 楽南（古河一3年）
- 長谷川良太（三和3年）
- 飯田 桜生（守谷3年）

優良PTA文部科学大臣表彰

水戸南高等学校PTA

全国高P連表彰

取手第一高等学校PTA

役員等表彰

福地秀太郎（日立一・附属中）
久保 晶子（事務局）

特別感謝状

茨城県高等学校PTA連合会
板倉 哲男 第73回全国大会兼
城大会実行委員長（水海道）

関東地区高P連表彰

福地秀太郎（日立一・附属中）

川和田篤史

（勝田・勝田中等教育
榊原 啓一（麻生）
小林 基伸（土浦）
阿久津幸幸（八千代）

団体表彰

取手第一高等学校PTA
（令和6年度生徒指導中央大
会発表校）

日立第一高等学校・附属
中学校PTA（令和6年
度県連会長所属校）

第16回感謝コンクール

（※主催：茨城新聞社、茨城新
聞茨城会、後援：文部科学省・
茨城県・茨城県教育委員会）

茨城県高等学校PTA連 合会長賞

鉄本 結愛（牛久高校3年）

あとがき

今年度も各地区の様々な活動や学校行事など広報誌に掲載させていただきます。

委員会活動においても皆様のご協力を頂き102号の発行が出来ました事お礼申し上げます。

今後もし子供達のためのPTA活動が出来ますようご尽力頂けたら幸いです。

原稿、作品をお寄せ頂きました皆様ありがとうございました。

（武藤 直美記）



「斜陽」
県立伊奈高等学校
写真部3年 高橋和誠

調査広報委員会

- 委員長 武藤 直美（牛久P）
副委員長 鈴木 治子（磯原郷英・長
委員 加藤 泰隆（佐和P）
飯山美都子（鉾田一附属中・長
小松崎清貴（土浦湖北P）
櫻井 隆之（石岡一・長
松山 幸恵（三和P）
久米 麻子（古河中等・長
豊田 常明（多賀T）
市村 真弓（鉾田一T）
根本 朗（潮来T）
鈴木 僚（牛久T）
梅原 敬子（太田西山T）